事業完了報告書

提出日：2023 年　3 月　　日

1．事業概要

（1）実行団体名：一般社団法人富田林市人権協議会
（2）事業名　：I♡新小校区福祉プロジェクト
（3）事業実施期間：2020 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
（4）資金分配団体名：一般財団法人大阪府地域支援人権金融公社

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 事務局長を中心にチェック体制を強化した
（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ／ ☐ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。 法人監事 高見一夫、太田直人
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☑ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☑ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：プロジェクトの使用する大・小封筒に印刷している

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	富田林市高齢介護課発行「ほんわか新聞」（市内全世帯配布）まち歩きスタンプラリー紹介記事
広報制作物等	有	プロジェクト周知チラシ、スタンプラリー広報チラシ（2回）、プロジェクト中間報告・ボランティアオリエンテーションチラシ、プロジェクト事業報告会チラシ
報告書等	有	新堂小学校区の元気・参加・未来のためのアンケート集計結果概要版（冊子） I♡新小校区福祉プロジェクト報告書（冊子）

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

1.組織として強化された事項
①IT 機器の整備により、コロナ化にも対応できる ICT 活用ができるようになった
②校区内町会、民生児童委員、社会福祉協議会、小中学校、地元企業等との連携した事業展開によって、団体間の垣根が低くなり協力が容易になってきた
③人権協の事業展開について、常に校区全体を視野に入れて企画するようになった
２．新たに認識した課題
①既存の地縁組織や団体だけでなく、様々なノウハウを持った NPO や市民団体との協力・連携の必要性
②LINE 活用による、新たな事業展開や事業方法の可能性
③地元企業との連携・協力についてお互いの利益になるような事業展開のヒント
３．今後の対応
①「校区交流会議」等、富田林市が進める地域福祉政策とどう連携していくか
②プロジェクトで立ち上がった各事業を継続・発展させていくための仕組と財源作りー企業との連携による「お金・人・思いやりが循環するおたがいさまのまちづくりシステム」の構築、各事業について新たに他の助成金を申請

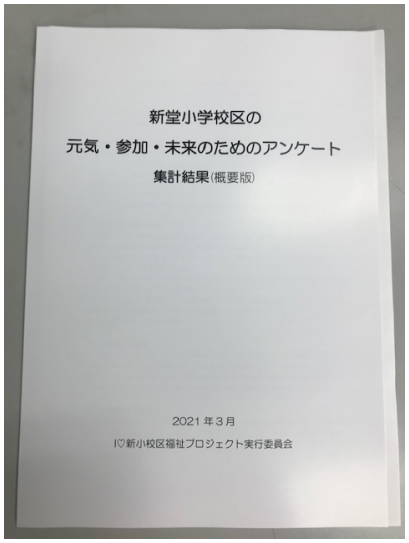
【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。



事業開始にあたり、新堂小学校区全住民（5224 世帯）を対象に「元気・参加・未来のためのアンケートを実施した。配布回収については、校区内町会の協力を得るとともに、校区内の学校、施設、商店やスーパーにお願いし回収ポストを設置した（約 40 か所）。結果、11％の回収率であったが、住民の地域活動への意欲、地域活動に求めているもの、近所づきあいや困りごとなど貴重な情報を得ることができた。

まち歩きスタンプラリー風景（清水町集会所前）。コロナ下でも広く住民が参加できる地域交流イベントとして多くの町会、地元企業、ボランティアが参加し 2 回実施。1 回目はスタンプポイント 6 か所設置、のべ 833 人が参加。2 回目はスタンプポイント 8 か所設置、のべ 1442 人が参加。他に多くのボランティアが協力。「楽しかった」「健康に良い」「またやってほしい」と好評だった。

事業開始にあたり、課題別のボランティアオリエンテーションを開催した（課題は「子ども食堂」「子ども学習支援」「高齢者配食」「通学見守り」「買い物同行支援」の 6 つ。写真は学習支援ボランティアオリエンテーション）。オリエンテーションでは、各課題の現状と活動の内容について話し合い、このオリエンテーションを基礎に事業展開を行った。

こども学習支援活動（小学生対象）風景。子ども食堂「ほっとスペースとんだばやし」と連動して2023 年から小学生学習支援活動を開始。こども約 25 人、ボランティアは地元住民、元教師、大学生など約 20 人が登録。子ども 15 人程度の出席で毎週 1 回の学習会が定着している。また、地元小学校の教師も積極的に協力してくれている。

2023 年 12 月、各事業のボランティアの皆さんによる振り返り会議を行った（写真は高齢者配食ボランティア)。「ボランティアを通じて健康になった」「出会い、つながりが楽しい」「わくわくボランティアカードは励みになる」などの意見が出た。またこれからの活動についてのアイデアもたくさん出た。